

「ホースセラピー」専用牧場 枚方にオープン

馬と触れ合い心身癒やし



ホースセラピーの牧場で乗馬を体験する子供たち
枚方市新町

乗馬や馬の世話を通じて心身の癒やしを得る「ホースセラピー」専用の国内初の牧場が、枚方市新町の京阪枚方市駅近くに26日、オープンした。馬と触れ合うことで不登校や引きこもりの改善を狙った牧場で、関係者の期待が集まっている。

乗馬やエサやり 引きこもり改善

ホースセラピーは、ドイツでは健康保険が適用されるなど治療効果が認められ、国内でも一部で身体障害者のリハビリに利用されている。大きな馬に乗ることで自信回復につながり、ストレスや孤独感を軽減するほか、乗馬の振動が脳や筋肉を刺激し、腹筋や背筋などを強化する効果があるという。

運営するのは、医師や臨床心理士、調教師らでつくるNPO法人「ホース・フレンズ事務局」(大阪市大正区)。平成16年からホースセラピーの普及を目的に、大阪を中心に乗馬体験などの巡回教室を開いてきた。参加した不登校の女子高生が馬との触れ合いで心を開き、通学するようになったケースもある。

この日は、中司宏・枚方市長らを招いて記念セレモニーを行い、テープカットでオープンを祝った。

その後、市内の小学生たちが乗馬を体験。子供たちは大きな馬にびっくりしながらも、背中に乗って感触を楽しんだ。

市内の小学3年、明口史弥君(8)は「ちょっと揺れたけど、楽しかった。また乗りたい」と笑顔で話した。

NPOの若内裕実理事長は「プログラムに参加した人たちがボランティアら、みんながこの牧場を大事に育てていきたい」と話していた。

1カ月の登録料は小学生500円、それ以外の学生1000円、一般2000円。別に月4回のプログラム参加料が6000円。7月までの毎週土曜日の午前中は無料体験会を行う。問い合わせはホース・フレンズ事務局(☎0120・372・403)へ。